

[1] 2021年度 事業報告

1. 全般的概況

公益社団法人としてスタートを切って、丸10年が経ちました。

昨年度スタートの2021年4月、新型コロナウイルス感染症の拡大により、3度目の緊急事態宣言が東京、大阪、兵庫、京都の4都府県を対象に発出され、その後愛知、福岡、北海道、広島、岡山を加えた9都道府県に増加。再びボウリング場にも休業要請、時短要請が出されました。

2020年最初の緊急事態宣言から今年で2年、その間に加盟非加盟を合わせると、全国のボウリング場数が約60減少しています。すべてが新型コロナ感染症の影響とは限りませんが、大きな原因となっているのは事実です。

4月21日発表の内閣府の月例経済報告の基調判断でようやく、一景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる。一と、多少ではありますが、明るい兆しが報告されています。

とは言え、現在はウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、さまざまなリスクに十分注意しながら、また同時に、感染症による影響を注視する必要があります。今後新たなスタンダードにも対応していかなければならなくなるでしょう。

業界が一丸となって立ち向かっていかなければなりません。

そのような中において、私たち日本ボウリング場協会は、「ボウリング場は決して不要不急の遊戯施設ではない。国民の健康維持、社会生活の維持に必要不可欠なスポーツ」であると叫び続け、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室とスポーツ庁に嘆願書を提出し、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守してきました。

厳しい状況は、今後も続いていくことと思います。

しかし、新型コロナウイルス感染症への対応策が少しずつ見え始めた2021年度後半は、国民各層へ、ボウリング場へ来場されるお客様のニーズに合わせ、さまざまな事業を展開し始めることができました。

日場協は会員皆様を、ボウリング場を、ボウリングというスポーツを、そしてボウリングを愛してくれるお客様を守るために、これからも事業を続けてまいります。

会員皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

このような状況のなか、弊協会は昨年度定時総会時に報告の2021年度事業計画に示した、次に記載の公益目的事業を中心に積極的に取り組みましたので報告します。

役員一同でさらに努力をしてまいりますので、引き続き会員皆様のご支援ご協力を切によろしくお願いいたします。

2. 公益目的事業

I ボウリングを通して、スポーツへの参加意識を高める事業（公益目的事業1）

1. 日本商工会議所会頭杯争奪「第54回BPAJ全国ボウリング競技大会」の主催

- （一社）長野県ボウリング場協会主管運営、関東ボウリング場協会協力のもと、令和3年6月4日（金）～6日（日）、ヤングファラオ（長野市）を会場として開催する予定で準備を進めていたが、2021年度についても、6月時点での新型コロナウイルス感染症の状況が不透明であり、予選開催状況が困難を極める県が多く、代表選手の確保及び県をまたいでの遠征が困難であること、そして、このようなリスクがある中で、参加選手が満足する大会を果たして開催できるのかという理由から、前年同様開催を見送り、一年後の令和4年6月に改めて本大会を開催することとした。

2. 「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」

- 経済産業省及び公益財団法人日本生産性本部の後援で実施された、「11.22いい夫婦の日・第24回キャンペーン」に参画し、全国の加盟センターで「いい夫婦の日・記念トーナメント部門」を実施した。

・参加センター 176 ・参加チーム数 2,741チーム（5,482人）

3. 「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ

- 今後の見通しについて情報を収集し、「オリンピック・パラリンピック」へのボウリング種目採用の働きかけ方法を検討した。

II 日本ボウリング史料館の設置・運営事業（公益目的事業2）

書籍に関しては、事務局が入居している 東京都品川区南品川2-2-10 南品川Nビル3階の一角にコーナーを設け、引き続き運営を行っている。

その他のグッズ等展示品については、27年にスペースをご提供いただき移転したアオキグランドボール（埼玉県川口市中青木3-8-17）内に引き続き展示、現在に至っている。

一般の閲覧者及びマスメディア関係者の取材に対応し、それが数々のボウリングの露出に繋がっている。

また、ボウリング史料館に足を運ぶことが出来ない人のために、協会のホームページでそれらをコーナー別に観ることが出来る「ボウリングミュージアム（Web史料館）」を開設・運営している。

Ⅲ 児童の健全育成事業（公益目的事業3）

友達とのコミュニケーションを深め、家族との絆を強めるスポーツであるボウリングを通して、児童にスポーツの楽しさを実感できるようにするとともに、安全な時間と場所を提供することを目的とする活動を行った。

1. 「ジュニアボウリング教室」の主催

(1) BPAJ・JPBA共催「2021年 夏休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 後 援 スポーツ庁
- 期 間 各自治体における夏休み期間中
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③スコアチャレンジの実施
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
 - ・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
 - ・チラシ（HPにアップ） ・参加賞（江崎グリコ商品）
- 全国の37センターで開催された。

(2) BPAJ・JPBA共催「2021年 冬休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 主 管 公益社団法人日本プロボウリング協会 開催各地区
- 期 間 夏休み期間中
- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 JPBAプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールをJPBAより送付
 - ・ポスター ・テキスト ・修了書 ・JPBA Jrワッペン
 - ・チラシ（HPにアップ）
- 全国の16センターで開催された。

(3) BPAJ・JPBA共催「2022年 春休み全国ジュニアボウリング教室」

- 主 催 公益社団法人日本ボウリング場協会、公益社団法人日本プロボウリング協会
- 期 間 春休み期間中：（2022年3月19日(土)～4月7日(木)）

- 参加対象 小学2年生以上 中学3年生迄
- 内 容 ①ボウリングのルールとマナー ②ボウリングの基礎技術
③記録会等の開催
- 指導担当 J P B Aプロボウラー、公認インストラクター、認定インストラクター
- ツール関係 申込みがあったセンターに対し、数を調整のうえ下記のツールを日場協より送付
 - ・ポスター ・テキスト ・修了書 ・J P B A J rワッペン
 - ・チラシ (HPにアップ)
- 全国の21センターで開催された。

(4)「2021 JBOジュニアボウリングアカデミー」の展開

全国のジュニアコーチの指導力を向上させ、ジュニアの底辺を拡大すると共に、ジュニアクラブ会員を拡大し、世界に通用するトップボウラーを育成する、的確で且つ安全なコーチングができる指導者を育てるため、公益社団法人日本プロボウリング協会と公益財団法人全日本ボウリング協会の協力により、2017年度より開催をスタートした。

2021年度は、全国8地区でジュニアコーチングセミナー並びにジュニアボウリング教室を下記のスケジュールで開催した。

地 区	会 場	開催日	セミナー参加数
北海道	千歳フジボウル	3月19日(土)	11名
東 北	三沢ボウル(青森県)	3月31日(木)	10名
関 東	世田谷オークラボウル(東京都)	3月28日(月)	16名
東 海	アソビックスびさい(愛知県)	3月26日(土)	8名
関 西	関大前フタバボウル(大阪府)	4月 3日(日)	10名
四 国	太洋ボウル(香川県)	3月16日(水)	12名
九 州	菊陽ボウル(熊本県)	4月 2日(土)	30名
沖 縄	サラダボウル	4月 9日(土)	14名

(5)「キッズボウリング動画選手権」の開催

ファミリー層に対し、コロナ禍にまつわる屋内アミューズメントへの嫌悪感を無くしていただき、ボウリングを娯楽の選択肢として思い出すためのきっかけ作り及び、ボウリングに親しみ、ボウリングが楽しいと感じたキッズ・ジュニア層が、日場協とプロ協会が共催する「ジュニアボウリング教室」に参加する道筋を作ることを目的に活動を行った。

お子様(0歳~小学校6年まで)のボウリングをする姿を撮影し、SNSに投稿していただく動画コンテストを開催する形式をとり、ボウリングは単なるアミューズメントではなく、キャンペーンを通じて「コミュニケーション」を育む「役割」でもあるという奥行きを裏テーマに設定している。

2. ジュニア開放レーンの推進

比較的お客様の少ない夕方などの時間帯をジュニア等に開放、及び幼稚園児の体験ボウリングを実施し、子ども達にスポーツの楽しさと安全な時間と場所を提供した。

この指導者として、競技者団体所属のボウラーの皆さんにボランティアで協力をお願いした。

3. 「ミニ・ボウリング機」の普及

当協会が所有するミニ・ボウリングの機器を、当協会加盟のボウリングセンターのみならず、地域が行うチャリティ等の公益目的活動について無償で貸し出しているが、2021年度はその実施はされなかった。

4. 「こども110番のボウリング場」の推進

各都道府県単位で地元行政や警察と連携して、「こども110番のボウリング場」を推進している。

IV. 福祉活動事業（公益目的事業4）

1. 「第54回宮様チャリティーボウリング大会」の主催

●関東ボウリング場協会主管、社会福祉法人友愛十字会、公益社団法人日本プロボウリング協会、公益財団法人全日本ボウリング協会、日本ボウラーズ連盟、全国実業団ボウリング連盟の協力により、毎年一般の部と障害者の部を開催している「宮様チャリティーボウリング大会」であるが、2021年度は2020年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。

2. 「AED（自動体外式除細動器）」設置の推進

BPAJ NEWSへの総合警備保障株式会社ALSOK「AEDレンタルサービス」の案内記事掲載や、「全国JPBAジュニアボウリング教室」開催時におけるAED設置状況調査など、加盟センターへのAED設置を推進した。

3. 幼児、高齢者、障害者への「簡易ボウリングキット」寄贈・貸し出し

幼児、高齢者、障害者等の誰でもが簡単にボウリングを通じてスポーツに親しむことができるよう、軽量のピンとボールの「簡易キット」を購入し、無償で提供・貸与する事業を推進している。

4. 「メタボリックシンドローム対策」推進事業

- ・メタボリックシンドロームが様々な生活習慣病の要因となっている。この改善には適度な運動が重要であり、ボウリングを通じてメタボリックシンドロームの改善を図るよう啓発活動を行った。
- ・また、骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰え、運動器の障害のために要介護になることや、または要介護になる危険の高い「ロコモティブシンドローム」を予防するために、ボウリングを通じて、ロコモティブシンドロームの予防を図るよう啓発活動を行った。
- ・全国の加盟センターで開催をする「健康ボウリング教室」を主催し、国民の健康増進に寄与した。

V. 高齢者福祉活動事業（公益目的事業5）

高齢化社会が急速に進展する現在、高齢者の健康増進、身体機能の強化は社会の極めて重要な課題であり、高齢者の運動能力を向上させるために、スポーツへの参加意識を高めることを目的とした活動を行った。

1. 長寿ボウラー番付の発表

平成8年度より実施している「長寿ボウラー番付」は、日場協の高齢者福祉活動事業の一環として実施されており、その回数も令和3年度で26回目を数えた。

BPAJ NEWS を通じ全加盟センターよりの報告（男性：80歳以上・3,593名、女性：75歳以上・4,896名の計8,489名、夫婦：合計150歳以上、683組・1,366名）と、更にポスター掲載のキャッチフレーズを募集し、それぞれ多数の応募をいただき発表した。

また、警察庁・都道府県警察の「振り込め詐欺撲滅対策」への協力として、引き続き「ポスター」に「標語」の掲載をした。

(1) 番付ポスターを制作し、全加盟センターへ男性編・女性編各2枚及び夫婦編2枚を配布した。

(2) 全国約510社のマス・コミにリリース資料を配布し、長寿ボウラー番付の広報に努めた。

媒体で取り上げられた情報は、各センターより日場協に情報提供された。

「長寿社会化現象」にマッチしたものとして、マスメディアのみならず、あらゆる業界から注目を集め、ボウリングは「健康スポーツ」「生涯スポーツ」「コミュニケーションスポーツ」として、その地位を不動のものとしている。

(3) 番付に掲載された全「長寿ボウラー」に「番付ポスター」と「認定証」を、また横綱ボウラーには記念品（協賛：江崎グリコ(株)）を、所属の加盟センターを通じ贈呈した。

(4) 希望者に「公式ユニフォーム」と「公式ワッペン」を有償頒布した。

(5) 過去6年間続けて開催をしていた、満80歳以上の長寿ボウラーを対象とした、第6回目となる「全国長寿ボウラーボウリング大会オーバー80's・90's」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。

2. ボウリングを通じての高齢者の運動能力向上に関する普及啓発

ボウリングは、高齢者の運動能力を高めることが医学的に証明されており、高齢化社会が急速に進展する現在、スポーツを通じての健康づくりを進めるとともに、予防医学の見地からも高齢者の運動能力向上に高い効果が認められ、国民の最も身近なスポーツであるボウリングを、高齢者に普及させる活動を行った。

VI. ボウリング関係団体の公益目的活動への参加と支援事業（公益目的事業6）

ボウリングに関係する団体は、それぞれが公益を目的とした活動を実施しており、当協会はそれら関係団体が実施する公益目的事業のうち、当協会活動の趣旨に適合する事業であり、下記関係団体が実施する事業に積極的に参加し支援した。

- ・日本ボウリング機構（JBO）
- ・公益社団法人日本プロボウリング協会（JPBA）
- ・公益財団法人全日本ボウリング協会（JBC）
- ・日本ボウラーズ連盟（NBF）
- ・全国実業団ボウリング連盟（ABBF）
- ・ジャパンレディーズボウリングクラブ（JLBC）
- ・公益財団法人スペシャルオリンピックス日本（S. O. 日本）

3. その他の事業（相互扶助事業）

VII. その他の事業（相互扶助事業）（その他事業1）

1. 全国ネット・テレビ放映の実現

全国ネットのテレビ放送でボウリング競技会等を放映し、広く国民がスポーツを通じてその楽しさを享受し、健康促進及び豊かな人間性の涵養に寄与するようボウリングに関する広報を行った。

2. 「ボウリングの日キャンペーン」の実施

- (1) 江崎グリコ(株)との共同主催により、「ボウリングでナイスショットな家族団らん！」

をテーマに、「プレゼント・キャンペーン」を全国の加盟センターで実施。

- 期間中に家族で来場された小学生以下のお子様にボウリングピン型「バルーンシューター」をプレゼント（各センター先着110名様・2種類各55個）

(2) 「小学生以下のジュニア無料キャンペーン」

6月22日（火）・ボウリングの日に、小学生以下のジュニアを無料対応するキャンペーンについて、時間帯もゲーム数も企業、センター、場協会の判断で任意にて実施。

できるだけ多くのセンターで実施していただき、「6. 22はボウリング場に子どもの笑顔が溢れる」ことを目標とした。

4. 管理部門

VIII. 管理部門

1. 会員の動向

新法人として会員体制の変更、会費の低減化及び役員組織強化努力により、30年度中に加盟率は65%に達し、維持を続けている。

(1) 会員企業数、会員センター数・レーン数及び加盟率

	2020年度期末（令和3年3月31日）		2021年度期末（令和4年3月31日）	
会員企業数	248社		233社	

区 分	2020年度末（令和3年3月31日）		2021年度末（令和4年3月31日）	
	センター数	レーン数	センター数	レーン数
加 盟	479	15,292	454	14,475
未 加 盟 (内付帯施設など)	216 (11)	4,930 (64)	219 (13)	5032 (80)
合 計	695	20,222	673	19,507
加 盟 率	70.0%	75.9%	68.8%	74.5%

【注】加盟率は、付帯施設（公共施設及び9レーン以下のセンター）を除き算出した。

(2) 令和4年3月31日現在の賛助会員数 … 6社

2. 総会の開催

(1) 「第9回 定時総会」

- 日 時 令和3年6月3日（木）・午後2時～同2時46分

- 場 所 品川プリンスホテル・メインタワー15階「トパーズ15」
 - 議 事 第一号議案 2020年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について
報 告 2021年度事業計画書、収支予算書、
資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告について
- ◆ 議案は、全て原案どおり可決承認された。

3. 理事会の開催

- | | | | | | |
|-----|------|-----|-------|------------|----------------------------------|
| (1) | 第64回 | 理事会 | 令和 3年 | 4月23日 (金) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (2) | 第65回 | 〃 | 〃 | 6月 3日 (木) | 於 品川プリンスホテル
メインタワー15階「トパーズ15」 |
| (3) | 臨時 | 〃 | 〃 | 6月28日 (月) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (4) | 第66回 | 〃 | 〃 | 9月 2日 (木) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (5) | 第67回 | 〃 | 〃 | 11月 8日 (月) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (6) | 第68回 | 〃 | 令和 4年 | 1月13日 (木) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (7) | 第69回 | 〃 | 〃 | 3月 9日 (水) | オンライン会議 (ZOOM) |

4. 事業委員会の開催

- | | | | |
|-----|-------|------------|----------------|
| (1) | 令和 3年 | 4月12日 (月) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (2) | 〃 | 7月 2日 (金) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (3) | 〃 | 8月25日 (水) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (4) | 〃 | 10月19日 (火) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (5) | 〃 | 12月 8日 (水) | オンライン会議 (ZOOM) |
| (6) | 令和 4年 | 2月21日 (月) | オンライン会議 (ZOOM) |

5. 拡大三役会議の開催

- | | | | |
|-----|-------|-----------|----------------|
| (1) | 令和 4年 | 1月12日 (水) | オンライン会議 (ZOOM) |
|-----|-------|-----------|----------------|

6. 日本ボウリング機構（略称：JBO）の活動

わが国ボウリング業界全8団体が一体となり、「ボウリング参加人口2000万人達成」
「No.1国民スポーツ＝ボウリング」の実現を目指し、平成30年8月に新団体「日本ボウリング機構（JBO）」を設立した。日本ボウリング場協会は、ボウリングの普及・振興を図るため、このJBOの活動に参画し活動をしている。

- | | | | | |
|-----|--------------|------|------------|--------------|
| (1) | 2021年度第1回理事会 | 令和3年 | 4月19日 (月) | オンライン (ZOOM) |
| (2) | 2021年度第2回理事会 | 〃 | 11月24日 (水) | オンライン (ZOOM) |

7. 各団体との打ち合わせ、他

(1) 「グローバルボウリングトーナメント」打ち合わせ会議

ボウリングの発展に向け、ボウリング界が一体となり立ち上げた「グローバルボウリングトーナメント」の開催について、打ち合わせをすすめた。

- ①令和 3年 4月26日(月)・午後 4時 ~ オンライン会議 (ZOOM)
- ② " 5月25日(火)・午後 4時 ~ オンライン会議 (ZOOM)
- ③ " 6月29日(火)・午後 4時 ~ オンライン会議 (ZOOM)
- ④ " 8月 4日(水)・午前11時 ~ オンライン会議 (ZOOM)
- ⑤ " 8月19日(木)・午後 3時 ~ 於 新狭山グランドボウル
- ⑥ " 8月20日(金)・午後 2時 ~ オンライン会議 (ZOOM)
- ⑦ " 12月21日(火)・午後 3時 ~ オンライン会議 (ZOOM)
- ⑧令和 4年 2月 1日(火)・午後 4時 ~ オンライン会議 (ZOOM)
- ⑨ " 3月15日(火)・午後 4時 ~ オンライン会議 (ZOOM)

※日場協からは、岡田専務理事・事務局長、伊藤職員が出席

● 「2021 グローバルボウリングトーナメント」の開催

9月12日(日)・午前9時~ 於 新狭山グランドボウル(埼玉県)

(2) 「KUWATA CUP 2020→2021」の共催実行委員会への参画

- 「KUWATA CUP~みんなのボウリング大会~」共催団体として、(株)アミューズ、ビクターエンタテインメント、(株)キョードー横浜、(公社)日本ボウリング場協会、(公社)日本プロボウリング協会で構成される「KUWATA CUP」実行委員会に参画し、延期となっていた「KUWATA CUP 2020→2021」開催へ向け検討をすすめた結果、コロナ禍でにおいて、国民が誰でも安心して安全に楽しめるオンライン完結型の大会として、「KUWATA CUP 2020→2021~みんなのボウリング大会~ONLINE MATCH」が開催された。

開催期間 2021年8月1日(日)~12月31日(金)の5か月間

会場 全国の日本ボウリング場協会・加盟センター

8. ボウリング発祥記念碑の維持管理

日場協が任意団体から通算して創立25周年を期し、後世へこの史実を伝えていくため、平成2年6月22日に「ボウリング発祥記念碑」を長崎市内に建立し、長崎県ボウリング場協会へその維持管理をお願いしている。

また、15年6月22日の“ボウリングの日”には、「社団法人化30周年」記念事業の一環として、「案内板及び柵」の設置・整備も行なった。

- ・ 建立場所 長崎市所有「長崎市松が枝町駐車場」
- ・ 借地面積 6.6平方メートル
- ・ 使用契約 長崎市から1年間の土地使用許可を得、以後自動更新されている。

9. 表彰規程による表彰の実施

(1) 第6条・2号②③ 功労賞

- ・ 鯨岡 則雄（茨城県ボウリング場協会 副会長として2期以上）
- ・ 野口 正（茨城県ボウリング場協会 事務局員として勤続25年）

(1) 第6条・5号 永年勤続賞の贈呈

- ・ 10年勤続者 1名
 - ・ 20年勤続者 3名
 - ・ 30年勤続者 1名
- ＜合計 5名＞

10. その他の組織団体への加盟・協調

(1) 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

- ・ 多種多様なスポーツ・健康関係団体が加盟しており、協調や情報交換等を行っている。
特に、スポーツ界全体の振興策や税制等について、他の会員団体と共同で調査・研究している。
 - ・ 尚、また中里会長は業務執行理事・副会長を務めている。
- ＜加盟団体・企業数＞ 19

(2) 東京商工会議所

- ・ ボウリング業界の更なる発展のため、平成8年11月に入会した。
- ・ BPAJ全国大会は、日本商工会議所の「後援」をいただくと共に、第32回大会（平成9年度）以降「日本商工会議所会頭杯争奪」と銘打ち開催されている。
- ・ 日本商工会議所・会頭である三村明夫氏に、前任の岡村正氏に引き続き26年2月より、弊協会の名誉会長を委嘱している。

(3) 公益財団法人日本スポーツクラブ協会

- ・ 多世代、多種目、多志向等の特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される「総合型地域スポーツクラブ」はじめ、全国の各種スポーツクラブをサポートすることを目的としている。
 - ・ ボウリング業界の更なる発展のため、平成31年1月に入会した。
 - ・ 弊協会岡田専務理事・事務局長が評議員を務めている。
- ＜維持会員団体・企業数＞ 8